

全大学生に求められるAI・DX知識

デジタル人材に必要な知識・能力

実務処理能力

実際の仕事(実務)を限られた時間内で完了(処理)するための力

問題解決力

社会で必要とされる知識を身につけてビジネスを成功に導くための力

ビジネス統計スペシャリスト エクセル分析一般

データ分析の力を身につければ課題解決や新規提案などに必要なデータを多角的に理解できるようになります。

MOS (Microsoft® Office Specialist)

自己流で何となく使えていても、それが正しく効率的に使いこなせているとは限りません。MOS講座では、実際に操作しながら学ぶため実践的なスキルが身につく、さらに、その身につけたスキルを資格として証明することができます。

P.21へ

データ活用

3分野の知識を組み合わせることで、これからの社会に適合していく問題解決力が養われます。

IT・ソフトウェア

AI・ディープラーニング

G検定 (ジェネラリスト検定)

AIの基礎知識や活用リテラシーを身につけることができます。人間の知能をコンピュータにより再現する技術で、業務の効率化や課題解決に役立ちます。

ITパスポート

現代を生きる全社会人に必要な知識とされ、デジタルリテラシー向上に役立つ基礎的な資格。

基本情報技術者

ITに関する知識だけではなく、プログラミングやコンピュータサイエンスを基礎から体系的に学べます。

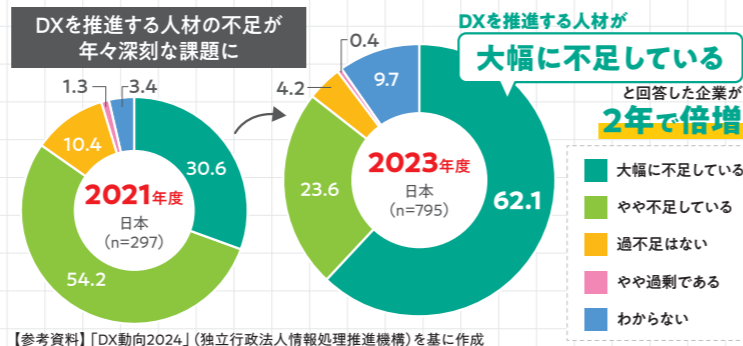
P.20へ

なぜ企業がDXを推進する人材の育成に力をいれるの?

※DX:デジタルトランスフォーメーション

- Point 1** 2030年には40万人から80万人のデジタル人材が不足すると予測されており、DX推進に必要なIT人材は約150万人
- Point 2** ChatGPTなどのAIの急速な進化により、AIを活用できる人材の必要性が高まっている
- Point 3** 経済産業省は、あらゆる業界でDXを推進している

DXを推進する人材の確保が企業の急務とされています!



【参考資料】「DX動向2024」(独立行政法人情報処理推進機構)を基に作成

ITパスポート学習経験者は基本情報技術者試験に有利!

ITパスポート試験と基本情報技術者試験の出題範囲は重なる点が多いので、ITパスポートの学習経験者に有利な試験といえます。ITパスポート試験対策で身につけた知識が残っているうちにチャレンジしてみましょう。

基本情報技術者試験の科目A試験は暗記が中心!

ITパスポートの知識をそのまま活かせます。

業種業界問わず必要な「情報活用知識」を学ぶ

助成金
P6

担当スクール
資格の大原

DX入門講座 ITパスポート講座 基本情報技術者講座

国家試験

再受講割引制度あり

※社会学部では3年次に「ITパスポート」に関する必修授業がありますので、ご留意ください。

国家試験

再受講割引制度あり

募集要項

- 申込期間は延長する場合がありますので、公務員・資格講座ホームページを随時確認してください。
- 受験料については各試験実施団体にお問い合わせください。

公務員・資格講座ホームページ

申込・講義日程・ガイダンスはこちら▶

講義日程を必ずご確認ください



講座名/コース名(回数)	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料 ※教材費込	再受講価格 ※教材費込
DX入門	随時	オンデマンド	3/10(火)~27/3/31(水)	4月~随時 ※手続き完了日から3ヶ月間視聴可能	4,400円	—
ITパスポート(20回)	5月	Webライブ	3/10(火)~4/24(金)	5月~7月	26,400円	18,700円
	10月		7/1(水)~9/24(木)	10月~12月		
基本情報技術者(45回) (科目A試験免除)	8月	オンデマンド	3/10(火)~7/21(火)	8月~27/3月	64,900円	45,100円
	3月		11/2(月)~27/2/19(金)	27/3月~10月		

申込方法はP.28へ



DX入門講座

IT初心者でも受講可能です。DXの本質の理解から始まり、推進の背景、戦略の概要などを分かりやすく説明し、チェックテストによる効果測定も行います。

- DX人材育成
- DXの目的
- DXの背景
- DX戦略の進め方
- DXの本質
- DXの構造
- 攻めのDX守りのDX
- DXの目的
- DXが進まない理由

ラインナップ例	講義時間	内容
DX入門	3時間	DXの本質 ■ 推進の背景 ■ DXが進まない理由(短縮版) ■ DX人材の育成 ■ チェックテスト

ITパスポート講座

すべての社会人・学生が備えておくべきITに関する基礎的な知識を学習します。パソコンを使用してプログラミングなどの実技を習得するのではなく、情報処理やビジネスに関する知識を学習するため、文系・理系問わずおすすめの試験です。就職後に役立つパソコンやネットワークの基礎知識だけでなく、経営戦略やマーケティング、財務、法務などの知識が身につく、どのような職種を希望している場合でも将来に活かせるスキルを習得できます。



経営全般
会社経営、法務、マーケティングなどビジネスに関する知識



IT管理
システム開発、プロジェクト管理、ITシステムの運用などITマネジメントに関する知識



IT技術
コンピューターの内部の仕組み、セキュリティなどIT技術に関する知識

基本情報技術者講座

情報処理技術者試験の中でも最も人気のある試験で、情報セキュリティ、ネットワーク、データベースなどITに関する基礎知識を幅広く習得でき、システム開発、IT基盤構築などの局面で役立つ力が身につきます。IT業界では、社員に対して受験を推奨している企業も数多くあります。

情報セキュリティ

セキュリティに配慮したシステム設計や、サイバー攻撃を未然に防ぐための調査・分析などをおこなう



データベース、ネットワーク

業務で扱うデータの統合・管理・蓄積や社内、部署ごとのネットワーク構築などをおこなう



プロジェクトマネジメント

ITシステムやソフト開発などのプロジェクトを総合的に管理・調整する



経営戦略マネジメント

企業の経営方針に従って、情報戦略の立案や、マーケティングなどをおこなう

